

主題	多摩小平地区給食研究会の取り組み
副題	ご存知ですか？
給食研究会	研究期間

事業所	シャローム東久留米
発表者：矢口 春江	アドバイザー：
共同研究者：	

電話	042-467-1561	E-mail	
FAX	042-467-3040	URL	http://shalom-tokyo.net/

今回発表の事業所やサービスの紹介	<p>*「多摩小平地区給食研究会」</p> <p>会員は 多摩小平保健所管内の特定給食施設</p> <p>会員数は現在22施設（病院・特養・救護施設・児童養護施設など）</p> <p>会長：複十字病院 管理栄養士 川崎由香理</p>
------------------	--

《1. 研究前の状況と課題》

施設では毎年 部署ごとに持ち回りで研究発表を行っておりますが、部署の配置人数はまちまちなのは皆さん御承知の通りです。

特に栄養課は給食業務が委託会社に移行になってからは施設の管理栄養士1人が課を支えなくてはならなくなりました。

シャローム東久留米としてどの様に地域の健康に貢献しているのかを最近の活動の報告をする事で研究発表に代えさせていただきます。

《2. 研究の目標と期待する成果・目的》

目標：職員及び関係者に多摩小平地区給食研究会の存在と活動内容を知ってもらおう。

成果：関係者に、より認識を深めてもらい、趣旨に理解、賛同、協力を得る事が出来る。

《3. 具体的な取り組みの内容》

1, 会の成り立ち

50年前、旧田無保健所管内の特定給食施設の給食関係者が立ち上がって組織作りが本

格的にされました。その後保健所の統廃合に翻弄されながらも5市の特定給食関係者は地域の健康の為に活動してきました。

2, 直近の取り組みの説明

*清瀬市民祭り 栄養点に協賛

*過去には東久留米市、小平市などのイベントに取り組んだ。

《4. まとめ、結論》

今後の活動とお願い

地域の人々に会の存在を知ってもらい、健康増進に役立ててもらいたい。

施設の給食の現場が地域の為に貢献している事を同じ職場の人々にも知ってもらい。

《5. 参考文献》

創立50周年記念「絆」

《6. 提案と発信》

東久留米市役所とのコラボも再開出来れば良いと思います。

